

新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

【対象者】 ※希望者のみ

①接種日に 65 歳以上の方

②接種日に 60～64 歳で心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（H I V）による免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

【接種期間】

令和8年 10 月 15 日～令和9年3月 31 日

【接種費用】

4,700 円

ただし、生活保護受給者等は申請により無料になります。

【接種場所】

江南市、犬山市、大口町、扶桑町（尾北医師会管内）にある接種協力医療機関
上記以外の医療機関で接種を希望する場合は、事前に手続きが必要です。

【接種回数】

期間中に 1 回、筋肉内注射します。

1. 新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、重症急性呼吸器症候群コロナウイルス（SARS-CoV2）による感染症です。呼吸器感染症のため、症状は発熱、のどの痛み、咳などが中心となります。高齢の方や基礎疾患のある方などは重症化のリスクがあるとされています。

2. ワクチンの特徴と予防接種の効果

流行している株に対応したワクチンを用いることで、より高い中和抗体価の上昇等が期待されることから、定期接種に用いる新型コロナワクチンの種類は、当面は毎年見直すこととされています。

ワクチン接種には、発症予防や重症化予防の効果があることが国内外の多くの報告で確認されています。いずれの年齢群においても、重症化（入院）予防効果は発症予防効果より高いことが確認されています。

3. ワクチンの副反応

接種部位の赤み（発赤）、はれ（腫脹）、痛み（疼痛）、倦怠感、頭痛など様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度または中等度です。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復します。

また、まれではありますが、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎が報告されています。そのため、接種後 30 分はその場で健康観察をすること並びに接種後数日の間に胸痛、動悸、息切れ、むくみなどの症状があった場合は医療機関の受診が必要です。

4. 予防接種を受ける前に

(1) 一般的注意

気にかかることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に接種医に質問しましょう。予診票は接種する医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける方、またはその付き添いの方が責任をもって記入しましょう。

(2) 予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱している方（通常 37.5℃以上）
- ②重篤な急性疾患にかかっている方
- ③新型コロナワクチン予防接種で、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- ④その他、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断する方

(3) 予防接種を受ける際に、医師と相談が必要な方

- ①抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害を有する方
- ②過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- ③心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患を有する方
- ④予防接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ⑤過去にけいれん（ひきつけ）を起したことがある方
- ⑥新型コロナワクチン成分に対してアレルギーをおこすおそれがある方

(4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①接種後 30 分間程度は、その場で健康観察をするか医師とすぐに連絡をとれるようにしましょう。
- ②接種後に高熱、けいれん、胸痛、動悸、息切れなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。
- ③接種後 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ④入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ⑤接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

5. 予防接種健康被害救済制度

予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になった場合、あるいは生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。